

シンポジウムについて

近年、ゆるキャラ・ご当地ヒーローなど、さまざまなキャラクターを用いた地域振興が注目を集めています。

本シンポジウムでは、『テヅカ・イズ・デッド』（NTT出版）などの著作でキャラ・キャラクター概念の問い直しを行い、現代文化におけるキャラクターの役割について論じた伊藤剛氏を迎え講演いただくとともに、福井という地において、キャラクターを活用し、地域振興との結びつきを試みている／試みようとしている方々に、そのとりくみについてお話を伺い、地域においてキャラクター文化が持つ可能性について考えます。

主催：仁愛大学人間学部コミュニケーション学科
共催：仁愛大学地域共創センター
京都大学地域研究統合情報センター共同
利用共同研究拠点(山中千恵個別ユニット)
マンガミュージアム研究会

参加費
無料

どなたでも参加できます
先着 200名様
申込不要



仁愛戦隊
コムレンジャー

地域おこしと キャラクター文化 — 次の「くまモン」は生み出せるか? —

仁愛大学 コミュニケーション学科 シンポジウム

日時

2015年

1月24日(土)
13:00~16:30
(12:30受付開始)

会場

仁愛大学 A303
〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1
問い合わせ先
0778-27-2010(代表)

※スクールバス利用可(武生駅前12:35発/大学16:40発)無料
※第一駐車場利用可(無料)

出演者(敬称略)

【講演】

伊藤 剛

(東京工芸大学芸術学部
マンガ学科准教授)



【出演】

清水 健太

(越前市商業・観光振興課)

ポピュラー文化研究会・学生有志
(コミュニケーション学科学部学生)

【討論者】

伊藤 遊

(京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国
際マンガ研究センター研究員)

村田 麻里子

(関西大学社会学部准教授)

【司会】

山中 千恵

(仁愛大学人間学部コミュニケーション学科准教授)



たけのこ人形
マスクットキャラクター
きくりん